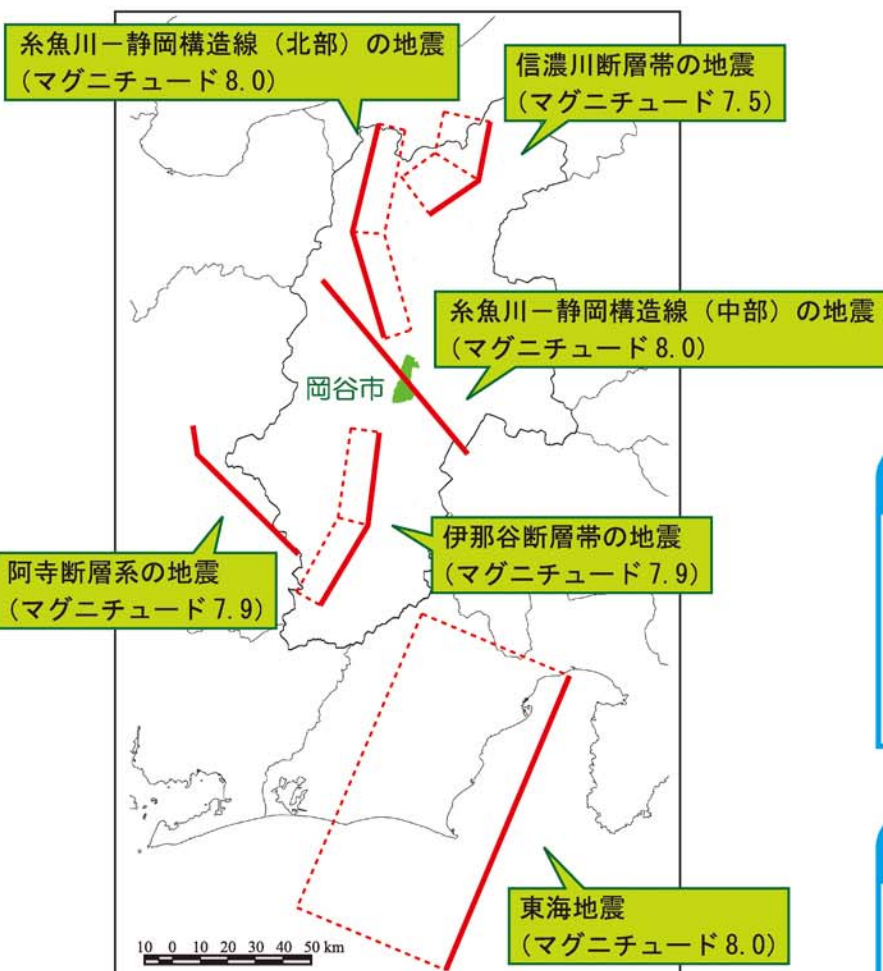


## 地震防災マップとは？

地震防災マップは、今後発生する可能性のある地震について、市民の皆さんが関心と知識を持ち、日頃から地震に備える手助けとなるよう考えて作成されています。



長野県が想定する6つの地震  
『長野県地震対策基礎調査』(平成14年3月)より

地震防災マップは、『長野県地震対策基礎調査』(平成14年3月)をもとに作成しています。『長野県地震対策基礎調査』では、過去に被害をもたらした地震や、地震活動の資料、活断層等の分布状況、最新の科学的知見を踏まえ、県内の主要都市に大きな被害を与えたと考えられる5つの地震と東海地震を想定しています。

### 揺れやすさマップ

地形や地盤の状況をモデル化し、想定される震源との位置関係とあわせて地点ごとの震度を計算した結果を表示したものです。

7~8ページ

### 地域の危険度マップ(地震防災マップ)

糸魚川-静岡構造線(中部)を震源として想定した場合の全壊率の分布を表示しています。

※全壊率：地域の建物の中で全壊する建物の割合

11~42ページ

## 全壊とは？

「全壊」とは、台風や地震などの自然災害による建物被害の中でも、もっとも大きく被害を受けた状態を示しています。国によって定められた「災害の被害認定基準」(平成13年6月)では、「居住する上で危険な状態」を全壊としています。

### 全壊



住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している。

### 半壊



柱・梁・壁が破壊され、居住空間が欠損している状態。

### 一部損壊



柱・梁・壁の一部が破壊されても、居住空間は欠損していない状態。

### 無被害



被害が生じていない。

※災害に係る住家の被害認定基準運用指針(内閣府)  
地震被害調査のための建物分類と破壊パターン(岡田成幸, 高井伸雄)を参考に作成

## 揺れやすさとは？

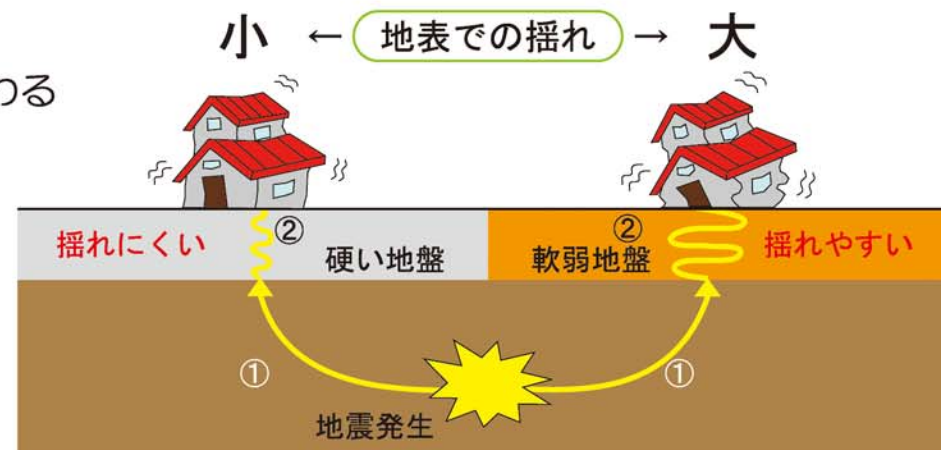
揺れの大きさは・・・

### ① 震源からの距離によって変わる

震源から地表付近までは、およそ震源からの距離に応じて小さくなります。

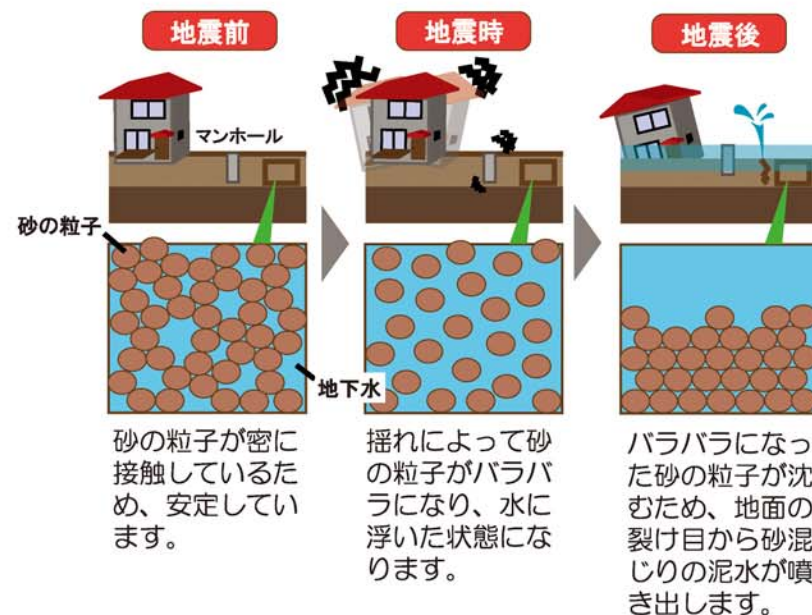
### ② 地盤の硬さによって変わる

硬い地盤では揺れにくく、軟弱地盤では揺れやすい傾向があります。



## 液状化とは？

液状化は、地震の揺れによって地盤が一時的に泥水のような現象で、地下水を含む軟弱な砂質地盤で発生します。



※岡谷市では、諏訪湖岸や天竜川沿いで液状化の可能性がります。

## 地盤の液状化で起こる被害

### 道路の陥没

盛土地や埋立地では、道路が陥没する場合があります。

### 地中構造物の浮き上がり

地下タンク・埋設管・マンホールなどの軽い地中の構造物が浮き上がることがあります。

### 建物の沈下・傾斜

地盤が液体状になるため、その地盤の上にある建物は支えを失って沈下や傾斜が生じることがあります。

### 噴砂・噴泥

砂・泥と水が混ざり合った液体状になるため、ときには噴水状に地面から噴きあがる可能性があります。

